

大崎町3つの川の水質は大丈夫か

特段の変化は感じてない



神崎 文男 議員

近年町内3河川の水質が悪くなっているようだが、町長の感想は。

産業の発展とともに、化学肥料、畜産頭数の増大や人口の増加などの要因があると思われる。

河川をきれいにする協議会
は出来ないか

神崎議員

本町の河川をきれいにするために、協議会を立ち上げられないか。

町内3河川の水質調査の結果

	硝酸性窒素 (NO-3N)	電気伝導度 (EC)
菱田川	40.3ppm	146 μS/cm
田原川	65.1ppm	199 μS/cm
持留川	32.3ppm	169 μS/cm
標準値	10ppm 以下	50 μS/cm

いろいろの要素がある

町長

本町の基幹産業である農畜



河川環境に関心を持ってもらう活動

時間をかけて慎重に行う

町長

河川の浄化はやらないといけないが、時代が進展して様々な農業形態が変わり、河川の汚濁が進んで来たので、県・町の関係のある水利組合などが主体となって慎重に行う必要がある。

トレーニンングセンター周辺
の道路や排水路整備は

神崎議員

陸上競技のトレーニンングに特化した日本初のジャパンアスリートトレーニンングセンター大隅が完成し4月から利用されている。いままでトリニダードバコや台湾の陸上選手が利用している。しかし、その周辺の道路や排水路は悪い所がある。砂利道やアスファルト舗装はしてあっても、小さな穴があったり雨上がりには水が溜り景観的にも悪いが、整備出来ないか。

一体的な整備を検討する

町長

今後、砂利道の舗装については、地域の実情や財政状況を見きわめた上で検討したいと考えている。周辺道路の舗装補修については、現地調査を行い、補修の規模にもよるが今後検討す

る。指摘の圃場は排水路網などが未整備であり、ジャパンアスリートトレーニンングセンター大隅も整備されていることから、今後、景観などに配慮した一体的な整備を検討する。

本町の医療費はどれくらいか

神崎議員

日本は高齢化が進み医療費が増えている。本町の医療費はどれくらいか。

平成30年度で15億5586万円

町長

本町の国保事業特別会計における総医療費は平成30年度で15億5586万7千円で一人当たり40万9546円である。

健康づくり事業数と参加人数は

神崎議員

自分の身体は自分で守る。運動などをして健康な体を保って病気にかからないように務める。これも医療費の削減になると思う。本町が取り組んでいる健康づくり事業はどれくらいで、何人くらいか。

全体で1181名

町長

マスターズプロジェクト事業

が4つの会場で50名、ころばん体操が25箇所343名、ふれあいいききサロン事業が38箇所587名、いきいきクラブ事業が50名、生涯学習講座の太極拳やジョギングなど9種目で125名、老人福祉センターで2種目26名で延べ人数は1181名である。

医療費削減策は

神崎議員

町民の方で健康に気をつけて、グラウンドゴルフやジョギングなどの運動をしている方が増えてきた。これらが医療費の削減に繋がっていると思うがどうか。

関係機関と連携をはかり
取り組む

町長

グラウンドゴルフは高齢者にふさわしいスポーツである。住民が住みなれた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう、医療、介護、住まい、生活支援などの各分野互いに連携しながら支援する地域包括ケアシステムの構築に向けて、関係機関と連携をはかりながら取り組んでいきたい。